

- 新年ごあいさつ
- 小規模事業費補助金の確保を知事に要望／
第63回商工会全国大会／商工会長会議
- ニッポン全国物産展2023／フードメッセinにいがた
2023／信州・創業入門ゼミ／秋の叙勲
- 耕作放棄地を活用したOMIMOの試み
OMIMO 中小企業の新たな事業活動
- 地元とともに60年、「地域から信頼され必要とされる
商工会」を目指して
松本市波田商工会 商工会はいま-Vol.133
- 「脱炭素経営」はリスクかチャンスか
経営ワンポイントアドバイス

- LGBT～近時の動向と裁判例について～
法律ワンポイントアドバイス
- スリランカ料理 アルッガマゲ
比良未美利さん・比良竜太さん
宮田村商工会 この人に注目-Vol.137
- 冬以外でもたくさんある木島平村の観光地をご紹介
木島平村商工会 ふるさと紹介-Vol.47
- 商工会ビジネスプラスカードのご案内



長野県商工会連合会のホームページ・E-mail アドレス
<https://www.nagano-sci.or.jp/>
shokoren@nagano-sci.or.jp

三滝の氷柱【大禪の滝】

「三滝」は、大禪、小禪、浅間の3つの滝の総称。落差30mの大禪の滝は、独特のマツカサ状の氷柱になり、コバルトブルーの氷柱は自然が織りなす一大芸術です。
(北相木村商工会)



企業の経営支援と地域振興の旗振り役として

長野県商工会連合会 会長 間瀬 一朗



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年中は、県下商工会及び商工連の事業推進につきまして格段のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

アフターコロナに移行し、人の流れが活発となり観光県である長野県にも国内外から大勢の方にお越しいただいております。

しかし、原油、原材料価格の高騰、円安も助長され日本国経済は厳しい局面を迎えています。

また、人手不足は全業種に影響を及ぼしており、コロナ以前の生産体制や十分なサービスの提供ができない状態が続いております。

そのような中、昨年4月からスタートした「第2期商工会マスタープラン」の趣旨ならびに内容を、商工連及び各商工会の総会・総代会など多くの場でご説明させていただきましたところ、おかげさまで各商工会の事業計画へ盛り込んでいただいたほか、さまざまな形で活用・実行していただいておりますこと深く感謝申し上げます。

経営発達支援計画策定支援については計画更新手続きが必要な17商工会すべてが認定申請を行い、引き続き全商工会で小規模事業者へ経営発達支援事業を実施する体制を維持します。商工連では県のバックアップを受け、創業支援と事業承継支援で新たな取り組みをスタートさせました。後継者不足等が地域産業にとって喫緊の課題となる中、これらの新たな取り組みが次世代の活力創出へ向けた一歩につながるよう努力しております。

さらに、中小企業エネルギーコスト削減促進事業による、事業者の省エネによるコスト削減を後押しすることをはじめ、幅広い支援メニューを駆使しながら、厳しい経営環境に直面する中小・小規模事業者を全力でサポートいたします。

商工会及び商工連は、企業の経営支援と地域振興の旗振り役としての役割を十分に認識し、地域にとって唯一無二の経済団体として、本年も事業を展開して参ります。

最後に、関係各位のより一層のご理解とご支援を賜りますことをお願い申し上げます。本年こそは皆様にとって明るく希望に満ちた一年となりますよう衷心よりご祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

新春を迎えて

長野県知事 阿部 守一



新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。皆様には、旧年中、県政の推進に対して格別の御支援、御協力を賜り、誠にありがとうございました。

県では、今年度から新たな総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン3・0」大変革への挑戦「ゆたかな社会」を実現するために「スタートしました。物価高騰や災害の激甚化・頻発化といった危機に向き合い、県民の皆様の「確かな暮らし」を守り抜いてまいります。その上で、一人ひとりの県民の皆様が経済的な豊かさだけでなく、生活の質やゆとりなども含めてしあわせを実感できる「ゆたかな社会」を長野県から創造するべく、社会の大きな変革に攻めの姿勢で挑戦してまいります。

今年度は、この計画を着実に推進するため、5つの重点テーマを中心に県政運営にあたってまいります。まずは、足元の物価高への対応と経済構造の転換です。エネルギーや食料品などの物価高騰から県民生活と事業活動を守るための取組に最善を尽くします。あわせて、適正な価格転嫁や産業の生産性向上を促進するなど、継続的な賃上げを実現できる強靱な経済構造への転換を図ってまいります。

次に、少子化・人口減少対策です。子育てにかかる経済的負担の軽減や、仕事と子育ての両立支援、固定的な性別役割分担意識の解消など、女性・若者から選ばれる県づくりを進めてまいります。また、物流2024年問題をはじめ、様々な分野で顕在化・深刻化する人材不足の問題に、あらゆる施策を総動員して対応してまいります。

その他、気候危機対策、教育改革、交通改革にも取り組み、「対話と共創」を理念に、県民の皆様とともに県政を進めてまいります。どうか変わらぬ御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年一年の皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。新年の御挨拶といたします。

年頭にあたって

全国商工会連合会会長 森 義久



新年明けましておめでとうございます。令和六年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。

旧年は、約三年あまり続いた新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、経済の正常化が進み、観光業等を中心として、景気の緩やかな回復が進みながらも、続く円安進行、エネルギー・輸入物価の高騰、人手不足、過去最大の最低賃金の引き上げなど、地域の中小企業・小規模事業者にとっては、売上は上がっても利益を出すことが厳しい情勢が続く、加えて新たに始まったインボイス制度への対応など、環境変化に追われる一年となりました。

こうした中、昨年十一月に開催した第六十三回商工会全国大会では「我が国経済の根幹をなす中小企業・小規模事業者を支援する大型経済対策の実施」や「中小企業・小規模事業者を支援する商工会の体制強化」など、五項目について満場一致で決議しました。

この度の決議項目を実現し、目まぐるしく変化する時代に対応するべく、商工会組織を挙げて、きめ細やかな伴走型の支援に全力を注いでまいります。

新たな年も、デジタル社会や脱炭素化社会への転換、深刻な人手不足に対する省力化対策、事業承継の更なる加速化など、地域で頑張る中小企業・小規模事業者を取り巻く経済情勢には多くの課題が残されておりあります。

引き続き、中小企業・小規模事業者の声を国等に届け、商工会として、皆様の実状に応じたきめ細かな支援を実行する体制を構築し、事業を推進していく所存であります。

終わりに、全国の商工会員の皆様並びに関係各位にとりまして、本年が、明るい一年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

つなぐーおらほの想いを信州でつなぐー輪つしよー 長野県商工会青年部連合会会長 小松 聡志



新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平素から県青連事業に對しまして、多大なるご理解とご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年は役員改選が行われ、第28代会長として前会長から引継ぎ、役員新体制のもとさまざまな事業を展開してまいりました。

昨年11月には第23回商工会全国大会が群馬県高崎市において開催され、主張発表大会では、関プロ代表であり長野県代表の辰野町商工会青年部の赤坂大介さんが見事優秀賞を受賞されました。長野県として初めて全国大会で入賞することができとても喜ばしく光栄な出来事となりました。

本年9月には関東ブロック商工会青年部連絡協議会令和6年度長野大会（前期大会）を長野市で開催いたします。1都10県の青年部員1,000名が一堂に会し、青年部員の資質向上はもとより、地域を越えた青年部員同志の交流の絆を深め、大会スローガンである「つなぐーおらほの想いを信州でつなぐー輪つしよー」に込められた想いととも、県下商工会青年部員一丸となって、心のこもったおもてなしで迎ええたいと思います。

結びに、本年も県青連事業へのご理解ご協力をお願いいたしますとともに、皆様の益々のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

女性部の組織基盤強化と魅力度向上に向けて 長野県商工会女性部連合会会長 石井喜久江



新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平素は県女性連事業の推進にあたり、県下女性部の皆様に温かいご支援ご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

昨年は新たに第2期商工会マスタープランが策定され、女性部として「部員数の減少に歯止めを掛け組織基盤を強化する」、「地域に根づいた魅力ある事業を提案し実行する」の2つのテーマを掲げ、活動に取り入れてまいりました。

中でも、組織の基盤強化のため、新たに部員増強推進委員

会を立ち上げました。人口減少や高齢化社会の厳しい環境のもと、時代の変化に対応した魅力ある女性部づくりを目指すため、委員会では様々な角度から女性部活動を見つめ直し、組織活性化に向けて動き出しました。県下商工会女性部の中には、積極的な取り組みから部員増につなげている女性部がございます。県女性連として、あらゆる機会を通じて皆様に情報発信してまいりたいと存じます。

結びに、本年も県女性連事業へのご理解ご協力をお願いいたしますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

壮青年部の組織強化と商工会活動の活性化を目指して 長野県商工会壮青年部部長 重盛 秀敏



新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。平素は県商工会壮青年部事業に對しましてご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

令和4年5月に45歳から55歳の若手経営者の組織として壮青年部が発足して、早1年8カ月が過ぎました。青年部で培った組織運営の経験や知識、ネットワークを活かし、地域経済の発展及び商工会活動の活性化のため、日々活動しております。

昨年9月には本会正副会長との懇談会を開催し、魅力ある

事業の構築や部員増強の取り組み強化について懇談し、課題を共有いたしました。本年も壮青年部の組織強化のため、青年部を引退した県青連役員経験者を中心に部員増強に努め、若手経営者として資質の向上を継続的に推進いたします。また、厳しい経済環境変化に対応するべく、経営者としての成熟を図ってまいります。

結びに、本年も壮青年部事業へのご理解ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方の今後益々のご繁栄とご活躍をお祈りし、新年のあいさつとさせていただきます。

小規模事業費補助金の 確保を知事に要望

商工会議員懇談会(服部宏昭会長)と商工連(間瀬一朗会長)は11月30日(木)県議会棟で令和6年度小規模事業補助金の確保等県による小規模事業支援体制の強化を阿部知事に要望しました。

商工連から「原材料、燃料等の価格高騰に伴う支援」、「県の新型コロナウイルス感染症対応の方針に伴う支援」、「事業承継・創業促進への支援」、「広域経営支援体制への支援」と商工会事務局長設置基準の緩和、「シニア専門指導員の支援」、「令和6年度小規模事業経営支援事業費補助金額の確保」を要望しました。

商工会議員懇談会からは「小規模事業者への経営支援サービスが持続的かつ安定的になされるよう十分な予算を確保すること」、「商工会が取り組む広域支援体制の構築がスムーズに行えるよう適切な支援を行うこと」等の申入れをしました。

阿部知事は「意見を取り入れながら安定的な運営が具現化できるよう補助金の見直しをしたい。コロナ禍を乗り越えたが厳しい状況は続いているので、短期・中長期の視点で取組みたい」と述べました。



阿部知事に要望書を提出する
商工連間瀬会長

第63回商工会全国大会

全国連は11月22日(水)東京都「NHKホール」で、第63回商工会全国大会を開催しました。長野県からは、間瀬商工連会長をはじめ110名の役職員が参加しました。

全国連森会長からは、中小企業・小規模事業者がおかれている厳しい状況の中で、今後さらに経営力をつけるための伴走型支援を提供するとともに、商工会の人材育成を強化していかなくてはならないとのあいさつがありました。

続けて岸田内閣総理大臣、西村経済産業大臣等からビデオメッセージでの挨拶がありました。

その後①「中小企業・小規模事業者を支援する大型経済対策の実施」②「小規模事業者等を支援する商工会の体制強化」③「税制・金融、労務支援制度等の改正・拡充による事業環境の整備」④「リスクに備えた支援の強化及び災害からの復興」⑤「地域唯一の経済団体としての商工会



岸田内閣総理大臣挨拶

の組織力強化」の5つについて決意表明があり、「商工会が地域経済の持続的な発展に寄与できるような邁進していく」との大会決議が採択されました。

スムーズな広域経営支援体制に向けて 商工会長会議開催

商工連は、11月7日(火)「穂高ビューホテル」(安曇野市)で商工会長会議を開催しました。

冒頭、間瀬会長から「今年度から第2期商工会マスタープランがスタートしています。商工会の今後においてマスタープランの位置づけが非常に大きな課題になっています。本日の会議の中で皆様の思いを語っていただきたいと思います。」と挨拶がありました。

また、令和7年度からの「県小規模事業費経営支援事業補助金の見直しについて」県産業労働部産業政策課滝沢課長から説明がありました。出席の商工会長からは、地域の実情や見直しの考え方等について意見・質問等が出されました。

令和5年度より設置された、広域専門経営支援員4名の取り組み状況の報告の後、グループ討議として10グループに分かれ「広域経営支援体制について」活発な意見交換を行いました。グループ討議は大変好評であり、スムーズな広域経営支援体制の構築に向け有意義な商工会長会議となりました。



グループ討議中の様子

ニッポン全国 物産展2023

11月17日(金)～19日(日)に、東京・池袋サンシャインシティ展示ホールにおいて全国商工会連合会主催による「ニッポン全国物産展2023」が開催されました。

この全国物産展は各地域の特色を活かした魅力ある商品を全国各地から集め、首都圏において消費者や流通業者などに幅広く紹介することを目的としており、今年度は全国各地から160事業所が出展し、3日間で約73,000人



長野県ブースも多くの来場者を集め県内特産品の販売とPRを積極的に行いました

人と多くの来場者を集めて盛大に開催されました。

長野県からは(株)大桂商店(上田市・信州味噌、おやき)、(株)信州新緑(大桑村・乾燥キノコ、林檎)、(有)高原牧場(長和町・軽井澤ソフトクリーム)、(株)竹内農産(長和町・漬物)の計4事業者が都道府県コーナーへ、百笑農房(佐久市望月・ほうづき100%ジュース)がご当地ドリンクコーナーに出展して多くの来場者を集めていました。

食品事業の販路開拓を支援 フードメッセinにいがた2023

11月8日(水)～10日(金)第15回食の国際総合見本市「フードメッセinにいがた2023」が新潟県新潟市の朱鷺メッセで開催されました。期間中訪れたバイヤーは12,589人(昨年度9,159人から3,430人増137%)。長野県の商工会地区から食品関係の6事業者が出展し、商工連では昨年に続き出展費用の一部を支援しました。

6次化大賞にエントリーされた泰阜村商工会の(株)ポタジェやすおか(あわ雪こんにゃく)が惜しくも受賞を逃しましたが、4企業から商談希望があり卸会社からの見積要望やレストラン展開している企業とメニュー開発が検討されています。



チームいづな (株)みみずや・(同)馬と・(同)あやとり

また、昨年度出展された飯綱町商工会の(株)みみずやは、夏に収穫したとうもろこしの表面をバーナーしプロトン凍結という特殊な冷凍技術で鮮度を保ちつつ年間を通して販売できるよう、商品名「なほもろこしブリュレ」で今年も出展されました。

1回の出展ではすぐに成約に結び付くことは難しいことから、商工連では引き続き商工会と連携し、支援していく予定です。

新規創業者の輩出を 信州・創業入門ゼミを開催

商工連では、県内の新規創業を促進し、地域産業活性化を図ることを目的に「信州・創業入門ゼミ」を県内4か所(東信地区(佐久市)、南信地区(飯田市)、中信地区(松本市)、北信地区(長野市))で開催中です。

講師にひぐち経営コンサルティング代表の樋口武伸氏をお迎えし、ゼミナール形式の講義運営が特徴であり、また、(一社)長野県商工会議所連合会と共催し、県内全域の創業を対象としています。

これまでに東信地区8名、中信地区12名の方に参加いただきました。参加者からは「具体例、実例を交えながらの説明で、大変勉強になりました。競合他社の分析ももっと深掘りしていこうと思います」、「SWOT分析を行うことで整理できた。講師の話などで、勝てるポジションがあることが理解できた。次回も楽しみにしています」、「具体例が多く、とても分かりやすい説明で、参加して本当に良かったです」等、大変好評をいただきました。南信会場(エス・バード、1月13日(土)、27日(土))では引き続き参加者を募集しています。

※申込及び詳細は長野県商工会連合会のHPを御覧ください。
https://www.nagano-scior.jp/info/shinshu_startup_seminar/



講師の樋口武伸氏

令和5年秋の叙勲

瀧澤恒夫氏(南牧村商工会長、長野県商工会連合会理事)が長年の功績を讃えられ旭日双光章を受章されました。



中小企業の新たな事業活動



OMIMOの耕作放棄地で栽培した商品

耕作放棄地を活用した OMIMOの試み

OMIMO 麻績村商工会

〒399-7701 東筑摩郡麻績村麻3829
TEL: 090-9664-6725



OMIMO
公式LINE



「信州の環境にやさしい
農産物」の認定マーク
認定番号: 50-50-00674

OMIMOの代表 久保田芳永と申します。

OMIMOは、東筑摩郡麻績村で農業を主に活動している団体です。麻績村は、長野市と松本市の中間に位置する中山間地で、令和5年11月現在の人口は2、481人と長野県77市町村のうち65位となっています。全国の中山間地の課題となっている、「高齢化による農地の耕作放棄地の増加」と「後継者がいない状況」は、麻績村も同様です。その状況を少しでも緩和し次世代につながることを考え、

2010年OMIMOを発足させ13年が経過しました。

OMIMOの主力メンバーは4人です。発足当時、自身は会社員でしたが、現在は自営でパソコン関係の仕事を本業にしています。他の3名は、会社員や主婦ですが、OMIMOの活動を行っています。中山間地では、専業農家で生活をしていくことは困難で、農業以外の収入を得ながら兼業で農業をしていくスタイル（兼業農家）が定着しています。13年間の活動では、田植え・稲刈りの

農業体験、東日本大震災で福島の子供たちのキャンプ企画、HP構築による情報発信、各イベント参加、スマート農業への取り組みなど、様々な活動やチャレンジをしてきました。

その活動の中心になっているのが、米・麦の栽培で耕作放棄地の有効利用の推進です。米に関しては、コシヒカリと酒米美山錦を約2ヘクタールで栽培し、麦については、もち性大麦（ホワイトファイバー）・スペルト小麦（古代小麦）を約4ヘクタールの圃場で栽培しています。麦に取り組んだのは、水田より比較的手がかからず、メンバーの時間・労力の負担が減り、さらには商品の付加価値を高めることが期待でき、耕作放棄地の有効利用につながると考えたからです。

米・大麦ともに長野県の「信州の環境にやさしい農産物」の認定を受け減化学肥料・減農薬の栽培をしており、大麦とスペルト小麦は有機肥料無農薬で栽培しています。

現在、特に力を入れているのが、「もち性大麦」です。水溶性食物繊維β・グルカンを豊富に含み健康食として注目されています。栽培のきっかけとなった、信州大学医学部保健学科の日高特任教授や商工会の支援をいただきながら、村内外に普

及するよう進めています。

もち性大麦を使用した商品として、米と一緒に炊いて食べるもち麦、もち麦を製粉したもち麦粉、もち麦を深煎り焙煎したもち麦茶、そして昨年からポン菓子として「おみボンもち麦編」を販売しています。

これらの商品は、栽培から加工・販売までOMIMOが一貫して行っており、他の農家さんや他の同商品と差別化することができました。

もち麦をはじめ、OMIMOの栽培する商品売ることは、耕作放棄地の有効利用が次世代につながると考え、今年OMIMOの法人化を計画しています。世の中のトレンドとして大手コンビニチェーンでは、もち麦入りのおにぎりが機能性食品として販売を始めました。健康に寄与する、OMIMOの「もち麦」をお試しいただければ嬉しいです。



もち麦粉を使用したおやきとシフォンケーキ

商工会はいま――

Vol.133

松本市波田商工会

中信

地元とともに60年、「地域から信頼され必要とされる商工会」を目指して
松本市波田地区について

松本市波田地区は、松本市の西部に位置し、四季折々に美しく彩られる豊かな自然と多くの史跡を鑑賞することのできる、北アルプスの麓の地域です。

産業においては、明治時代よりヒノキ、カラマツなどの山林種苗が生産されており、県内でも主要な産地となっています。

また、肥沃な大地と清流に恵まれた広大な優良農地を利用して、スイカ、りんご、梨、桃、ぶどう、稲作などの豊富な農産物を生産しています。とりわけ「スイカ」は全国ブランドとして、地域を代表する農産物です。

商工会では

当地区は松本市マスタープランにおいて「松本市西部地域の生活拠点」に指定され、さらに、市内でも数少ない人口集約地区にも指定されております。

当商工会は、松本市の特産品直売所の指定管理者に選出され、「恋人の丘サラダマーケット」を運営しております。地場農産物の直売はもとより、地場産品を活用した特産品づくり、会員企業の試作品の市場調査や製品の展示販売などを行っ

ています。

また、中学校の職場体験実習の受入れや、

養護学校と連携し新しい地域での障がい者雇用支援の受け皿としての役割を試行しています。

歴代商工会長の『地域商工業者の支援は当たり前。地域振興無くして地域の商工業者の発展無し。』という強い信念の下、当商工会では様々な事業に取り組んできました。



特産品直売所

ものの、なかなか予算が確保できない遊歩道などの災害復旧や維持管理に取り組んでまいりました。

なかでも、波多城址や若澤寺史跡の山道の復旧整備や、「白樺学舎」と呼称される中学校

の校庭の台風被害による倒木の復興支援など、単なるボランティアの域を超え、住みよい地域づくりのため活動しております。

商工会館周辺は、市役所波田支所や公民館、市立病院、アルピコ交通波田駅、小・中学校、総合体育館、保育園などの公共施設が集中しています。

令和5年8月には、波田小学校・PTAとの共同で、ダイドードリンコ(株)の地域貢献事業を活用し、商工会館前に防犯カメラを設置しました。

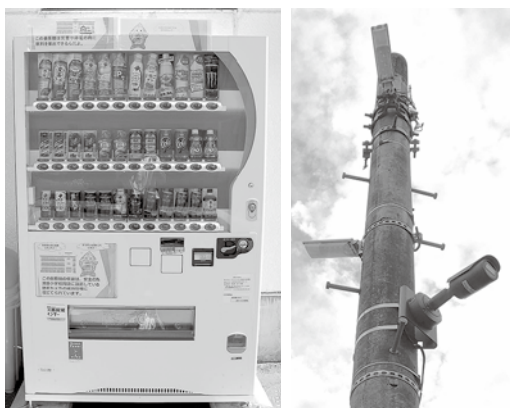
防犯カメラの設置は、隣接する駐車場で、小学校関係者など利用者の車が傷つけられる事案が増加しているという小学校からの相談から始まりましたが、商工会館帯が災害時の防災拠点になることから、商工会としても防犯カメラの管理運用に加え、地域貢献の一環として自販機も災害救援型自販機を要請し、併せて災害時の照明の確保のため、広範囲を明るく照らせるLEDへと機能を拡大しました。



合同ボランティア (上：山道整備・下：白樺植栽)

今回の自販機の設置事業が、地域の防犯と防災に役立つこととなり、安心して暮らせる街づくりの一助になればと考えています。

今後も、中小・小規模事業者の持続的発展に寄与しながら、安全安心のまちづくりの中心的役割の「翼を担う」ことで「地域から信頼され必要とされる商工会」を目指していきます。



自販機・LED街路灯・防犯カメラ



シスラボ・スエヒロ 代表
中小企業診断士
末広 繁和 氏

「脱炭素経営」は リスクかチャンスか

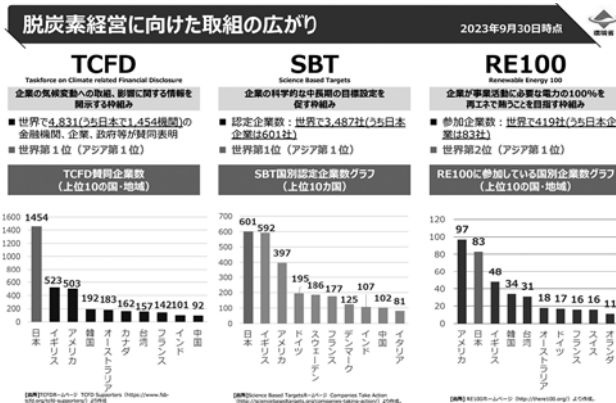
1. 脱炭素経営とは何か

脱炭素経営は、気候変動対策を経営上の重要課題と位置づけ、全社を巻き込んだ経営戦略のことです。2050年には温室効果ガス（GHG）の実質排出量ゼロ（カーボンニュートラル）を目指して経営戦略を展開します。

2. 大企業の脱炭素経営への動き

パリ協定を契機に、企業は気候変動対策に焦点を当て、経営戦略の開示（TCFD）、カーボンニュートラル目標の設定（SBT）、自社エネルギーの100%再生エネ化（RE100）などにより、国際市場においても積極的に脱炭素に取り組んでいます。これは国際的なESG投資の潮流に乗り、企業価値向上と差別化、新規取引のビジネスチャンスに寄与しています（図1参照）。

図1



3. サプライチェーンの中小企業への要請

脱炭素経営に取り組む姿勢を求めています。具体的な要請は、二酸化炭素（CO2）排出量の計測、削減計画の策定、透明性のある継続的改善活動、CO2削減量の要求などです。これは取り組まないことがリスクであると同時に、積極的な取り組みがビジネスチャンスとなることを示唆しています。顧客の要求がなければ、当面はScope1およびScope2のCO2削減対応策に取り組むことです（図2参照）。

図2

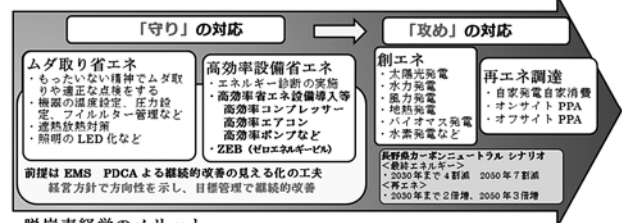


4. 守りの「省エネ」からスタート

「省エネ」は脱炭素経営において、生産性と環境負荷の両面で進める重要な取り組みです。ムダ取りと高効率設備更新の2つの手段があります。日常的な紙、ゴミ、電気、ムダ取りは継続的維持管理項目として重要ですが、大幅な使用エネルギー削減は長期的かつ戦略的な計画が必要です。高効率設備の更新は大幅な成果が期待されますが、資金投資が必要であり、経営計画と調和させた計画が必要です（図3参照）。

図3

守りの「省エネ」と攻めの「創エネ」・「再エネ調達」で先手を打つ



脱炭素経営のメリット

- 企業価値の向上に繋がる
脱炭素経営は TCFD, SBT, RE100 等の大企業に対して、訴求力があり信頼を得られる
- 光熱費 燃料費の低減
高効率省エネ設備を導入することで大幅な CO₂ 削減が期待できる
- 社員のモチベーションの向上
気候変動などの社会課題解決に取組む姿勢は、社員からの共感と信頼を得られる
- 新規ビジネスのチャンス
「温暖化対策=成長の機会」ビジネスチャンスと捉える企業が増えている

5. 攻めの「創エネ」・「再エネ調達」

攻めの取り組みとして、「創エネ」では自ら再生エネルギーを生み出し、自家消費します。主なものとして太陽光発電や小水力発電があります。不足分はPPAや再エネ電力の調達によって賄います。PPAは発電事業者との長期的な電力購入計画です。再生エネルギー市場からの調達も検討されます。（図3参照）

6. 脱炭素経営の取り組み方

継続的改善と透明性確保のためには、環境マネジメントシステム（EMS）の導入が重要です。ISO14001や中小企業向けのEMS登録制度であるエコアクション21（EA21）が主な選択肢です。EMSがない場合は、脱炭素戦略を採用し、エネルギー使用量を集計し、CO2削減計画を策定します。運用管理は既存の目標管理に組み込み、継続的な管理状況公表の工夫が必要です（図表3参照）。

7. これから脱炭素経営を取り込みたい

EA21導入が早道です。EA21は短期間で実施体制が整備でき、登録、更新審査費用がISOに比べると安いことです。さらに、特徴的なことは、毎年、環境経営レポート作成が義務化されているために、最新の運用進捗状況が環境省のホームページで確認することができます。

弁護士

高野尾 三穂 氏

LGBT

～近時の動向と裁判例について～

近時、メディア等で「LGBT」という言葉をみかける機会が増えていませんか。

「LGBT」とは、レズビアン（同性を好むことになる女性）、ゲイ（同性を好むことになる男性）、バイセクシュアル（両性を好きになる人）、トランスジェンダー（生物学的・身体的な性、出生時の戸籍上の性と性自認が一致しない人）の頭文字をとった総称で、性的指向及び性自認における少数者を表し、セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）とも言われています。

2023年6月23日に性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律（以下、「LGBT理解増進法」といいます。）が施行されました。

また、今年は、最高裁判所において、7月に、トランスジェンダーである経産省職員の性自認に基づくトイレ使用がどこまで認められるべきかについて、同人に対するトイレ使用制限について違法とした判決が、10月には、戸籍上の性別を変更するには生殖能力をなくす手術を受ける必要があるとする性同一性障害特例法という法律の規定について、憲法違反であるという決定がなされました。これらはニュースなどでも大きく報道されたことから、目にされた方も多いのではないでしょう

か。

ここ数年間における裁判例の蓄積には目覚ましいものがあり、地方自治体や、職場においてもLGBTの権利を守る制度が急速に整備されつつあります。

職場についての流れとしては、厚生労働省告示のセクハラ防止指針においては、被害者の性的指向又は性自認にかかわらず同指針の対象となることが明記され、パワハラ防止指針では、相手の性的指向・性自認について当該労働者の了解を得ずに他の労働者に暴露することを、職場におけるパワーハラスメントの一例としてあげています。厚生労働省は「多様な人材が活躍できる職場環境に関する企業の事例集」性的マイノリティに関する取組事例」も公表しています。

LGBT理解増進法に関しては、まずは、性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に向けた施策の充実をはかり、多様性に寛容な社会の実現を目指すものとして、制定されたこと自体を評価する見解もあります。しかし、同法は、立案・制定過程でなされた議論において「性自認は『性自称』を含む」、「自ら『女性』と称しさえすれば、女性用トイレや入浴施設に入るができる。」等の、誤った理解に基づく発言等が横行し、法制定の必要性が軽視

され、法の制定過程で本来されるべき議論が深まったとは言えない状態で制定されたもので、成立した法律の内容自体にも修正すべき点がある等も指摘されています。

他方、最近の司法の動きとしては、性的少数者への差別克服のため社会が向かうべき方向性を示しています。前述の最高裁の判断の他にも、同性カップルの婚姻を認めていない民法、戸籍法の規定について、憲法一四一条や、二四条二項に違反する又は違反する状態にある等、複数の地方裁判所において判断されています。

少数者に優しい社会は、誰に対しても優しい社会といわれます。性的少数者を取り巻く社会的、経済的、文化的状況の正しい理解が進み、性自認や性的指向が人の人格の根幹にあることを踏まえ、すべての人が差別をうけることなく、お互いの人権や尊厳を大切にしつつ、多様な人々が平穏に生活できる社会が実現されればと願っています。



この人に 注目

Vol.137

スリランカ料理 **アルッガマゲ**

比良^{びりやうた}末^{むつり}美^み利^りさん・比良^{りやうた}竜^{りやうた}太^たさん
宮田村商工会



比良竜太さん末美利さん夫妻

スリランカ料理アルッガマゲは、2000年8月1日に長野県上伊那郡宮田村でレストランとしてスタートし、今年で23周年を迎えました。スリランカ出身のウダヤ・アルッガマゲ、アルッガマゲ幸子夫妻がこの地で創業し、現在は創業者夫妻の娘の末美利とその夫である私竜太が次期二代目として承継の過渡期を迎えています。創業自体は1989年で、大阪府東大阪でわずか8帖のスペースを借りてスリランカレストランを始めました。現在ではインド・ネパール料理などは親しみがある方

も多いと思いますが、当時はいまほどの知名度はなく、スリランカ料理などは当時ほとんど存在していませんでした。そんな環境でお客様は目新しさから入店し、スパイスがどこか懐かしい味を求めて常連になってくださったそうです。現在は、自然に囲まれ水も空気もおいしくて、スリランカと風情が似ている宮田村で、目の前のお客様と大切に接するために、3テーブルのみ・ディナーなし・ランチ営業のみと等身大の運営を続けています。おかげさまで、県内をはじめ、関東・東海・中国・四国地方など様々なところから定期的にお立ち寄りくださるお客様も増えてまいりました。

二代目の私たちは、2022年まで東京で共にオフィスワーカーとして勤務の日々を過ごしていたのですが、ほぼ毎週末逃げるように上伊那に帰省し、その度にアルッガマゲのカレーを食べていました。仕事を言い訳に日頃の食事をないがしろにした分、身体中に栄養が染み渡り疲れが吹っ飛ぶ感覚に感動したのを覚えています。次第に、この料理をもっと全国の方々に味わっていただきたいと思うようになり、妻と二人同時に仕事を辞め、後継の許可をもらって上伊那に戻ってきました。

昨年は初代にとっても我々二代目にとってもチャレンジの年になりました。アルッガマゲのカレーを全国販売する新規事業を立ち上げ、宮田村商工会やアルプス中央信用金庫、日本政策金融公庫の皆様からご支援をいただいたおかげで、事業再構



展示会へ出展

築補助金に採択され、事業化を開始しました。具体的には、レストランで提供するカレーを冷凍真空状態にして冷凍惣菜として商品化しました。同時にロゴやECサイトも全面リニューアルし、単なる商品化ではなく一つのブランドとして認知されるように、見た目・質ともに改善を繰り返しています。

また、全国の百貨店やスーパーなどの卸先を開拓するため、展示会・商談会にも初めて参加しました。そこでは実際に試食してもらいながら、少量多数回生産のこだわりや、お客様に食を通して癒しの時間をお届けしたい想いなどをお伝えし、結果として予想以上の成約を獲得することができました。「スリランカ料理って何?」といったイメージなき状態から「ぜひ取り扱いたい」と言っていたくださるまでの過程で、先代の食へのこだわりとお客様への愛情がいかに強いかを改めて感じるとともに、継承しつつも越えなければならぬ背中がいかにか大きいものかということを感じしました。

今後は、百貨店など取引企業様に安定納入するための生産体制と人材を整える「仕組みづくり・組織形成」への挑戦です。妻と私は「社員と我々の間には上下はなく役割の違いがあるのみ」、「組織が社員を大切にして初めて、社員はお客様を大切にできる」という仮説を共有し、毎日のレストラン運営から新規事業の業務を通して、対等にかつオープンにコミュニケーションを取れる雰囲気作りを心がけています。それでもまだまだ改善の余地が多く、毎日スタッフの皆様迷惑をかけてしまう日々ですが、根気強く支えていただいているおかげで、今もアルッガマゲの料理をお届けできています。

目の前のお客様を大切にすることをECサイトでも実現するため、今後も様々なキャンペーンやサービスを企画しています。直近では、お客様のその日の体調に合わせて最適な食材や料理や商品を提案するAIチャットボットを、アルッガマゲの公式LINEで限定配信する予定です。

これからお客様に癒しのひと時を感じていただけるスリランカ料理を宮田村で、そして全国で提供できるように、チームで邁進いたします。今後もアルッガマゲをどうぞよろしく願います。

スリランカ料理 **アルッガマゲ**

住所／〒399-4301
長野県上伊那郡宮田村5083-1
TEL／0265-85-0080



ECサイト



公式LINE

「この人に注目」をシリーズで毎号掲載しています。商工会地域内で頑張っておられる方をご紹介します。



Vol.47

木島平村商工会

冬以外でもたくさんある 木島平村の

観光地をご紹介します

木島平村は、長野県北部に位置する豪雪地帯の農村です。自然が豊かでのどかな田園風景が広がっています。スキー場があり冬の観光地として有名ではありますが、冬以外でも観光名所は多数あります。中でも今回ご紹介する場所は、蓮の花が咲き誇る「稲泉寺」と

ブナの原生林が広がる「カヤの平高原」になります。

蓮の花

木島平村にある赤いトタン屋根が特徴的な稲荷地区・稲泉寺には、お寺を囲む約5,000㎡の蓮田に大賀蓮をはじめとする約10万株の蓮が植えられています。毎年7月中旬から8月下旬にかけて桃紅色の花が咲き誇ります。

稲泉寺の大賀蓮

大賀蓮は、1951(昭和26)年に大賀一郎博士によって2000年前の泥炭層から発見されました。稲泉寺の大賀蓮は、松本市島内土地改良区と新潟県上越市高田公園の観達園から株分けされたものです。泥水を俗世と見立て、そこから咲きだす清らかな蓮の花を仏様に例えた由来のある蓮です。早朝からゆつくりと咲き始め、午後にはしぼんでしまうため、午前中の早い時間帯が鑑賞に最適な花となります。



ブナの原生林

カヤの平高原

木島平村には名所が数多くあり、中でも上信越高原国立公園の中心、志賀高原の北に広がる標高約1,400から1,700m、約1,450haの広大な高原があります。ここには樹齢300年を超えるブナの原生林が広がり「日本一美しいブナの森」とも呼ばれています。7月上旬から下旬にかけて、北ドブ湿原で見られるニッコウキスゲの群生をはじめ、高山植物の宝庫になります。遊歩道や休憩所、ロッジや常設テント、キャンプ場なども整っているガイドが案内するトレッキングプランも予約いただけます。体力や時間に合わせてトレッキングルートの設定をすれば、1日たっぷり楽しむこともできます。



北ドブ湿原のニッコウキスゲ

き、短時間で美しいブナの魅力を感じることできます。ルートの標高差は少ないので、初心者でも問題なく楽しめます。

冬季間のカヤの平高原は、雪が3m近く積もるため1月のこの時期に行くことはできません。そのため6月から10月の期間ですが、春終盤から秋にかけて様々な景色をみれることから、躍動的な自然の季節変化を感じることが出来ます。

全国の約80万会員事業者の業務・会計に関する課題をデジタル・ITの力で解決

商工会ビジネスプラスカード



商工会のために生まれたカード

全国商工会連合会
Central Federation of Societies of Commerce and Industry世界にひとつ、
あなたにひとつ。

お客様の喜びを喜びに

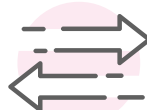
小規模事業者向け会計ソフトのノウハウや、最先端のFintech技術を活用して、中小企業・小規模事業者の経営力を強化。まさに商工会の会員事業者さまのために生まれたカードです。

キャッシュバック
割引サービスでおトク!

詳しくはこちら

決済費目に応じた充実
のキャッシュバック・割引
特典をご用意!一般カードなら
年会費無料※1!

0円

■初年度年会費無料
■年間30万円以上使用で
翌年も無料(一般カードのみ)API連携で
会計処理を便利に!■カード利用明細データを
商工会クラウドへ自動連携。
API連携を実装しているため、より
安全なデータ連携が可能に。海外でも国内でも
安心の補償を!■旅行傷害保険
■ショッピングガード保険
■航空機遅延保険
■サイバーリスク保険

LINE UP

券 種		プラチナ	ゴールド	一般
				
		年会費 30,000円 (税別)	年会費 10,000円 (税別)	年会費 初年度無料※1
カード付帯サービス				
旅行傷害保険	国内	最高1億円※2	最高5,000万円※3	なし
	海外	最高1億円※4	最高1億円※5	なし
ショッピング ガード保険	国内	最高500万円 (1事故につき事故負担額3,000円)		なし
	海外	最高500万円 (1事故につき事故負担額3,000円)		最高100万円 (1事故につき事故負担額10,000円)
サイバーリスク保険		サイバーリスクに関する保険付帯		
その他サービス				
基本サービス		■ ETCスルーカードN ■ QUICPay (クイックペイ) TM ■ ゴルフエントリーサービス ■ 空港ラウンジサービス ■ プラチナ・コンシェルジュデスク ■ グルメベネフィット ■ プライオリティ・パス	■ ETCスルーカードN ■ QUICPay (クイックペイ) TM ■ ゴルフエントリーサービス ■ 空港ラウンジサービス	■ ETCスルーカードN ■ QUICPay (クイックペイ) TM

※1年間30万円以上のご利用で次年度年会費1,250円(税別)無料 ※2 商工会ビジネスプラスカード プラチナで事前に、「搭乗する公共交通乗用具」、「旅館、ホテル等の宿泊施設」、「参加する募集型企画旅行」の料金をお支払いになった場合、国内旅行傷害保険が適用されます。※3 商工会ビジネスプラスカード ゴールドで事前に、「搭乗する公共交通乗用具」、「旅館、ホテル等の宿泊施設」、「参加する募集型企画旅行」の料金をお支払いになった場合、国内旅行傷害保険が適用されます。※4 商工会ビジネスプラスカード プラチナで「搭乗する公共交通乗用具」または、「参加する募集型企画旅行」の料金をお支払いになった場合、海外旅行傷害保険が適用されます。ただし、募集型企画旅行の場合は日本出国前に商工会ビジネスプラスカード プラチナを利用された場合に限り適用されます。※5 商工会ビジネスプラスカード ゴールドで「搭乗する公共交通乗用具」または、「参加する募集型企画旅行」の料金をお支払いになった場合、海外旅行傷害保険が適用されます。ただし、募集型企画旅行の場合は日本出国前に商工会ビジネスプラスカード ゴールドを利用された場合に限り適用されます。

おトクな
入会特典WEBでの入会手続きで
入会時にキャッシュバック!※新規ご入会応諾口座ベース ※キャッシュバック方式
※本カード入会にはカード会社所定の審査がございます。

プラチナ

15,000円

ゴールド

10,000円

一般

5,000円

商工会ビジネスプラスカードの入会はこちらから!

https://www.jcb.co.jp/corporate/houjin/shokokai_tk.html